

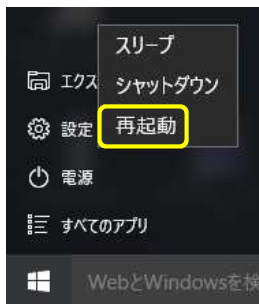
## Windows 8 以降のPCを使用して“USBアダプタ接続状態”が赤から緑に変わらない場合の対処法

アップデートデバイスキット（OP-87052）のUSBアダプタ用ドライバー（PC上でUSBアダプタを駆動するためのソフトウェア）はデジタル署名されておりません。

通常であれば、書き換えツールをインストールすると同時に自動的にドライバーもインストールされますが、Windows 8 以降のPCでは**デフォルト状態で署名なしドライバーのインストールが制限されている**場合があります、ドライバーが正常にインストールされず、PCがUSBアダプタを認識しない（書き換えツール上で、**USBアダプタ接続状態のシグナルが赤から緑に変化しない**）状況となることがあります。

このような場合、デジタル署名のないドライバーでもインストールができるよう、PCの設定を以下の手順で変更してください。

- ① PCの電源が入った状態で、**Shiftキーを押しながら再起動をクリック**します。



- ② 「オプションの選択」画面に移行しますので、**トラブルシューティング**を選択します。



- ③ 次の画面で**詳細オプション**を選択します。



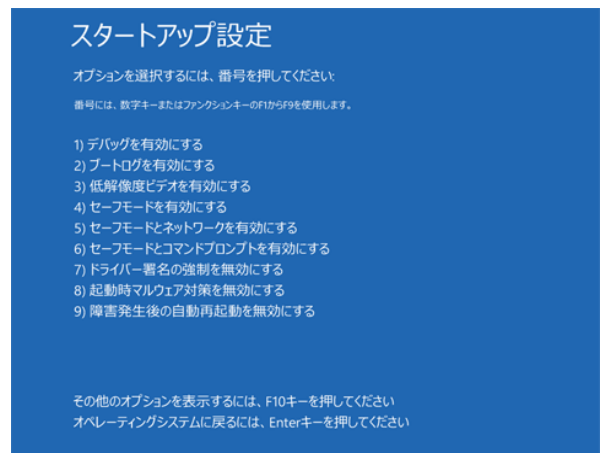
- ④ 次の画面で**スタートアップ設定**を選択します。



- ⑤ 次の画面で**再起動**を選択します。



- ⑥ 以下の画面が表示されますので、**キーボードの“F7”**を押してください。



- ⑦ PCが再起動されます。

以上で**アップデートデバイスキットのUSBアダプタ用ドライバをインストール可能な状態**となりました。

**引き続き、書き換えツールのインストール**をおこなってください。

（既に書き換えツールをインストール済みの場合は、上書インストール、アンインストールしてから再度インストール、何れも問題ございません。）

※再びPCを再起動すると自動的に元の設定状態（USBアダプタ用ドライバーのインストールができない状態）に戻りますのでご注意ください。

（PCの設定状態が元に戻った後でもインストールされたドライバーは動作しますので、USBアダプタを正常に認識します。）